

# テーマ名：医師・看護師等確保対策

島根県健康福祉部医療政策課

## 1 医師確保対策

### 1. 施策の背景

- (1) 県内では、離島、中山間地域、特にこの1、2年は県西部地域における医師不足や産科・外科など特定の診療科での医師不足が一層深刻化
- ① 離島、中山間地域、県西部地域における医師数、医師密度が低くなっており、病院勤務の常勤医師数も県全体では減少（資料P3～4）
  - ② 県内の病院勤務医師に占める大学医局出身の割合は約7割（資料P4）
  - ③ 県全体で約260人の病院勤務医が不足（資料P5）
  - ④ 医師不足等により、県内病院の医療体制の確保が厳しい状況（資料P5）
- (2) 全国的な医師不足の背景
- ① 総医療費抑制施策と医師養成数の削減（資料P6）
    - ア 総医療費抑制のため、診療報酬のマイナス改定が続き、厳しい医療機関経営  
※診療報酬：2000年にプラス改定されて以後マイナス改定が続いたが、2010年に10年ぶりプラス改定
    - イ 医師過剰を懸念し、昭和59年から平成19年まで医学部の定員を削減  
※医学部定員：8,280人（S59）→7,625人（H19）
  - ② 医師の大学医局離れ（資料P7）
    - ア 以前は、博士号の取得のため卒業後にそのまま出身大学の医局に入局する者が多数
    - イ 最近では、専門医志向が強まり、症例数の多い大都市部の医療機関に若手医師が集中する傾向
  - ③ 初期臨床研修の必修化
    - ア 平成16年度から2年間の初期臨床研修が必修化
    - イ 研修医は自由に研修病院を選べるようになり、症例数の多い都市部の病院を選ぶ傾向となり、地方の病院や地方の大学病院を避ける傾向
    - ウ ②と③により大学医局入局者が減少し、その医師供給能力が大きく後退
    - エ 県内における医学部進学者数や研修医が減少（資料P7）
  - ④ 医療訴訟のリスク（資料P8）
    - 訴訟リスクの高いとされる産科、外科など特定診療科を敬遠
  - ⑤ 女性医師の増加（資料P8）
    - ア 女性医師の比率が高まってきている。
    - イ 女性医師が育児に専念するための、育休代替医師の確保が困難。
  - ⑥ 国立大学の独立行政法人化
    - ア 法人化に伴い、大学ごとに独立採算が求められることとなった。
    - イ 附属病院の収益確保を図るため、附属病院に医師を優先的に確保する傾向になってきた。
    - ウ 相対的に、地域医療機関への医師供給が減少傾向になってきた。

医師不足は全国的な課題であり、地方だけの取り組みでは限界がある。国に対しても、医師不足解消のための仕組みを、国の責任において実現するよう強く求めている。

## 2 施策の目的・目標・状況

### (1) 現役の医師を「呼ぶ」

即戦力の医師を確保するため「赤ひげバンク」などにより平成14年度から平成21年度において県外から57名の医師を招へい（資料P9）

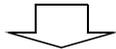
### (2) 将来の地域医療を担う医師を「育てる」

将来、県内の医療機関で勤務しようとする医学生への支援として、奨学金の貸与を実施平成14年度から平成22年6月末までの貸与実績は120名（資料P9）

※参考：平成21年度末貸与実績93名

### (3) 島根で働く医師を「助ける」

代診医制度によるへき地診療所等に勤務する医師の勤務条件の改善など既存の事業に加え、地域医療再生計画に基づく事業として、医療事務作業補助者の雇用経費の支援、専門医、指導医等の資格取得及び更新経費の支援、地域医療を守る普及啓発活動の支援などを実施



### (目標)

- ① 県民がそれぞれの地域で安全、安心な生活ができるように医療提供体制の確保を図る。
- ② 病院勤務医師の充足率につき、平成23年度に80%台を確保する。（島根総合発展計画）
- ③ 地域医療再生計画に基づく事業により、平成25年度を目途に対象地域（※）における病院に勤務する医師の充足率の引き上げ75%（現状69%）

※ 隠岐圏域、安来市、雲南圏域、大田圏域、浜田圏域、益田圏域

## 3 具体的な事業内容

医師を「呼ぶ」、「育てる」、「助ける」の3本柱による従来からの事業に加え、地域医療再生計画に基づく事業により、医師確保対策への取り組みをより強化していく。

（資料P10～12）

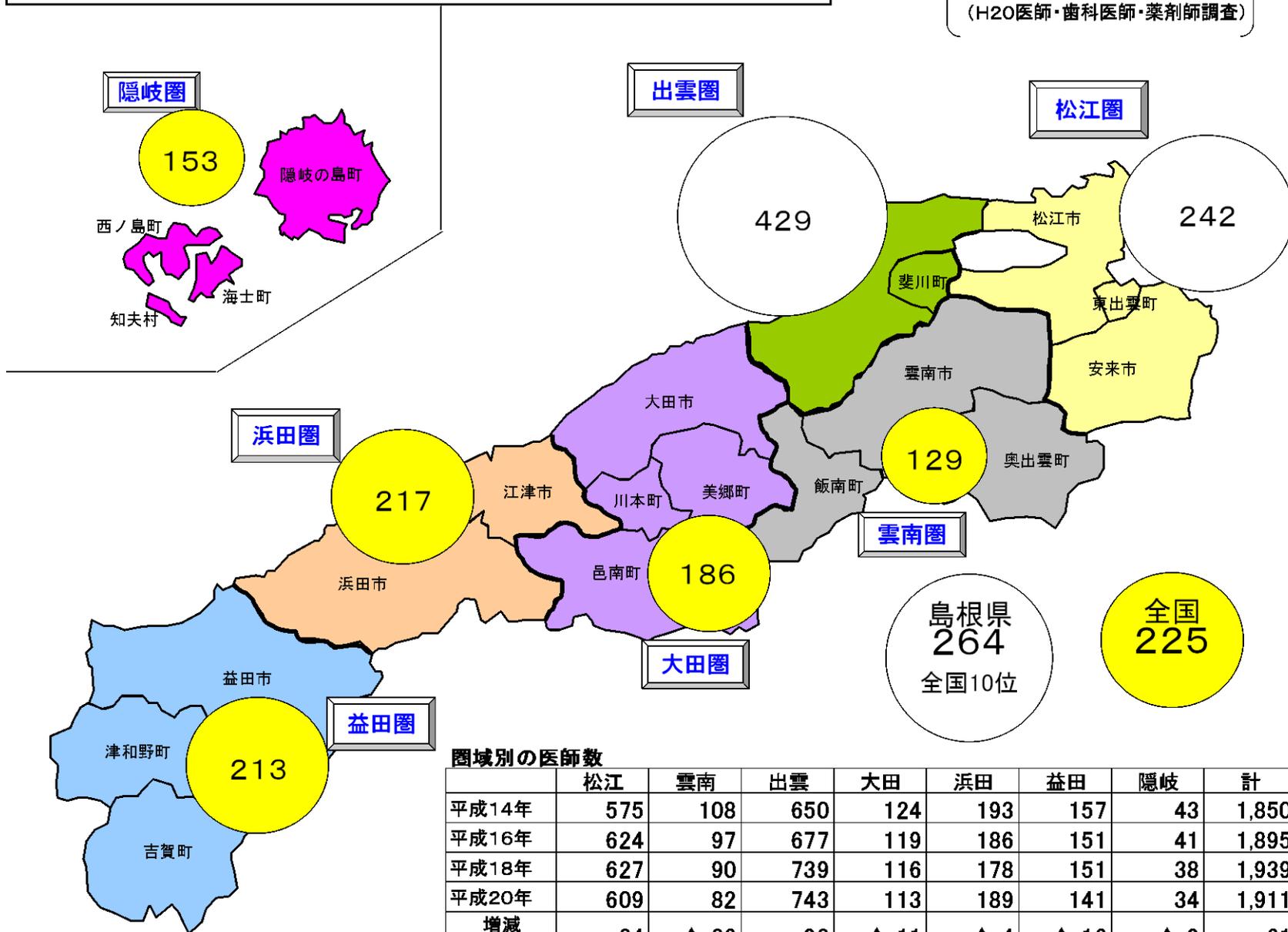
## 4 今後の検討課題

今後、関係者が一体となって医師確保対策に取り組むに当たって、行政としてどのような分野、事業に力を入れていくとよいか。また、地域ぐるみでの医師の受け入れ、魅力ある地域づくり・病院づくりによる医師の定着のため、行政としてどのような取り組みを進めるとよいか。

# 島根県の医師数(人口10万対医師数)

## — 2次医療圏別 —

医師数:平成20年12月31日現在  
(H20医師・歯科医師・薬剤師調査)

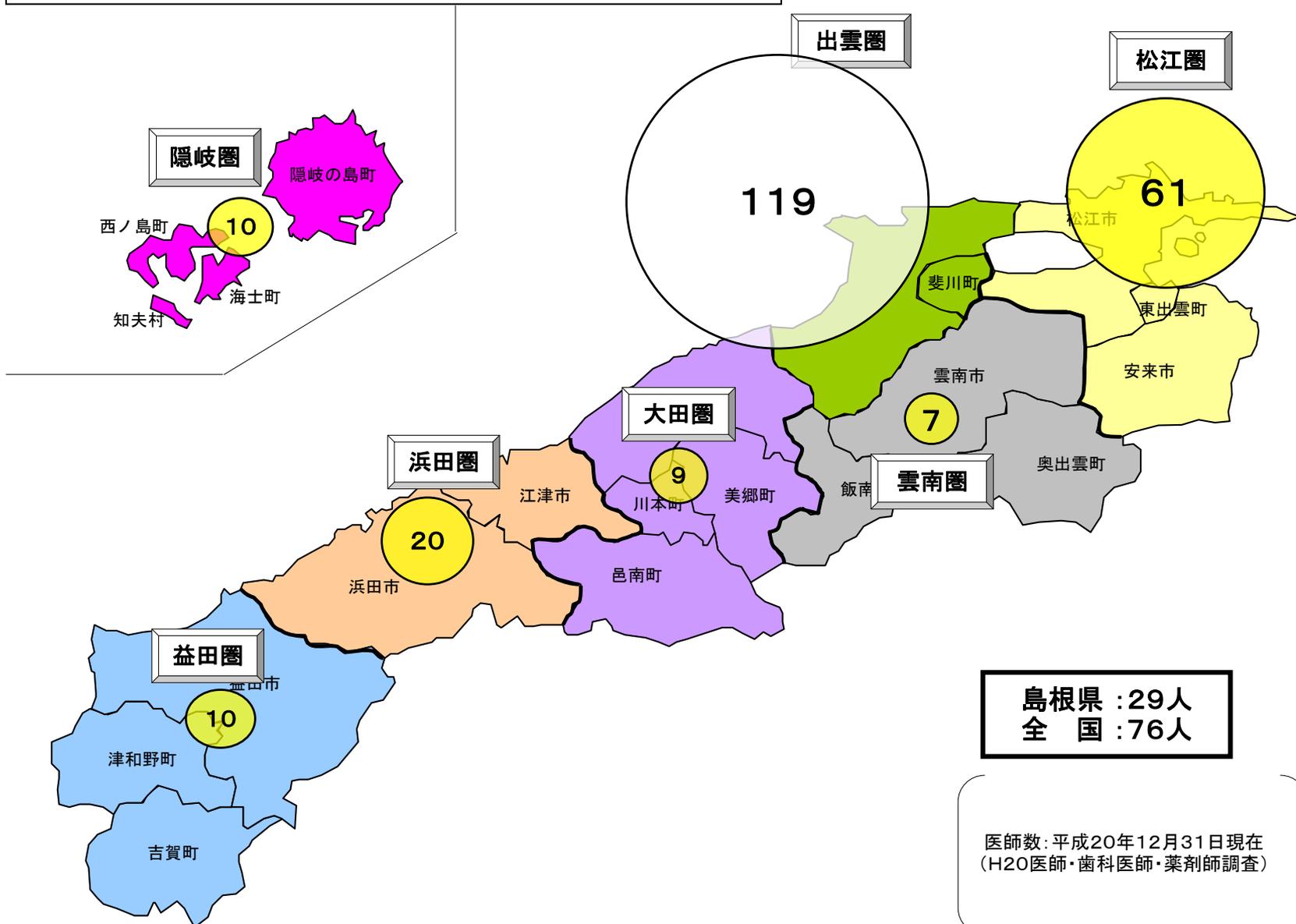


圏域別の医師数

	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	計
平成14年	575	108	650	124	193	157	43	1,850
平成16年	624	97	677	119	186	151	41	1,895
平成18年	627	90	739	116	178	151	38	1,939
平成20年	609	82	743	113	189	141	34	1,911
増減 (H20-H14)	34	▲ 26	93	▲ 11	▲ 4	▲ 16	▲ 9	61

# 島根県の医師数密度(人/100km<sup>2</sup>)

— 2次医療圏別 —

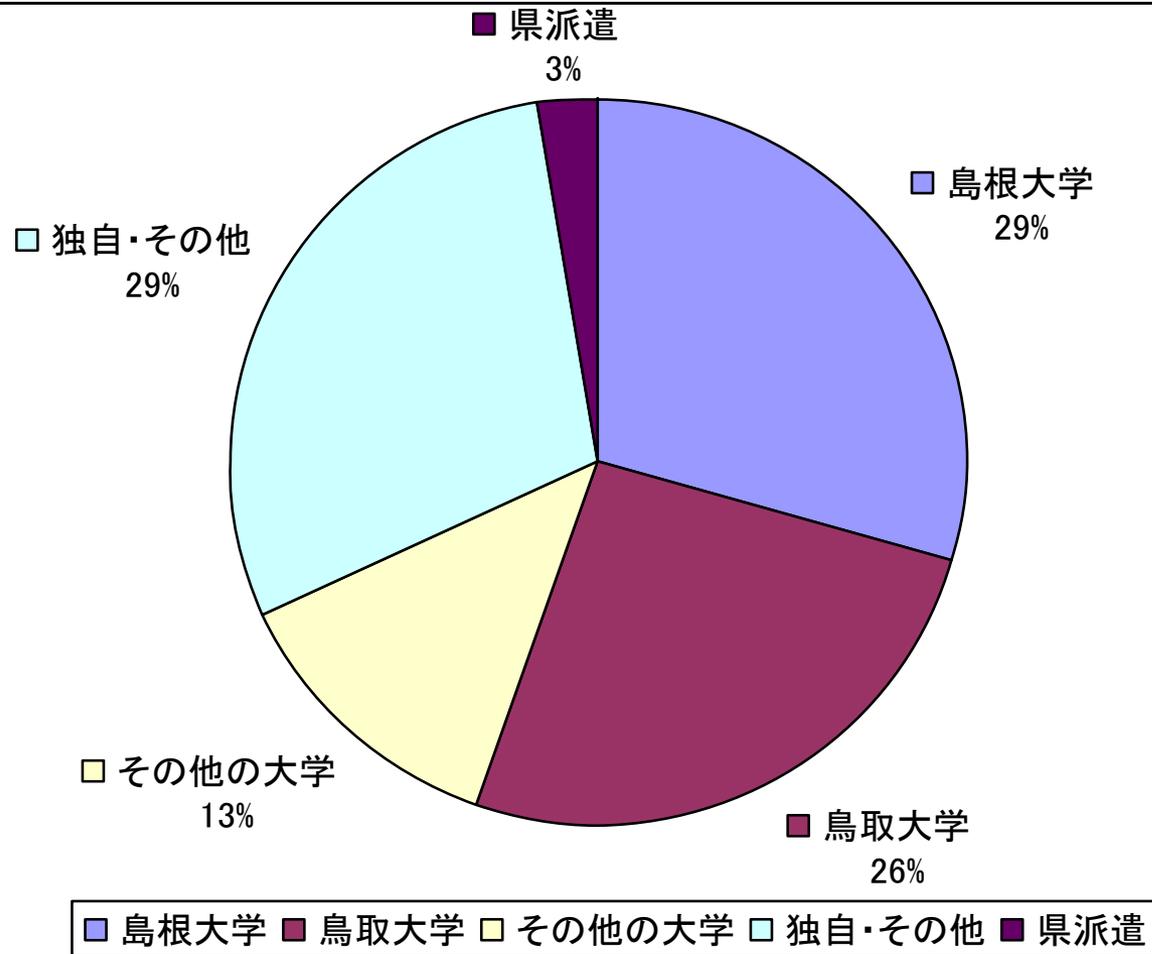


# 島根県内の病院勤務医師数の推移

県内の病院(島根大学医学部附属病院を除く)の常勤医師数								
	松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐	計
H18	316	46	179	50	101	84	21	797
H19	320	43	183	49	102	73	20	790
H20	316	35	189	50	103	67	18	778
H21	326	33	187	47	100	67	18	778
H18→H19差引	4	▲ 3	4	▲ 1	1	▲ 11	▲ 1	▲ 7
H19→H20差引	▲ 4	▲ 8	6	1	1	▲ 6	▲ 2	▲ 12
H20→H21差引	10	▲ 2	▲ 2	▲ 3	▲ 3	0	0	0
H18→H21差引	10	▲ 13	8	▲ 3	▲ 1	▲ 17	▲ 3	▲ 19

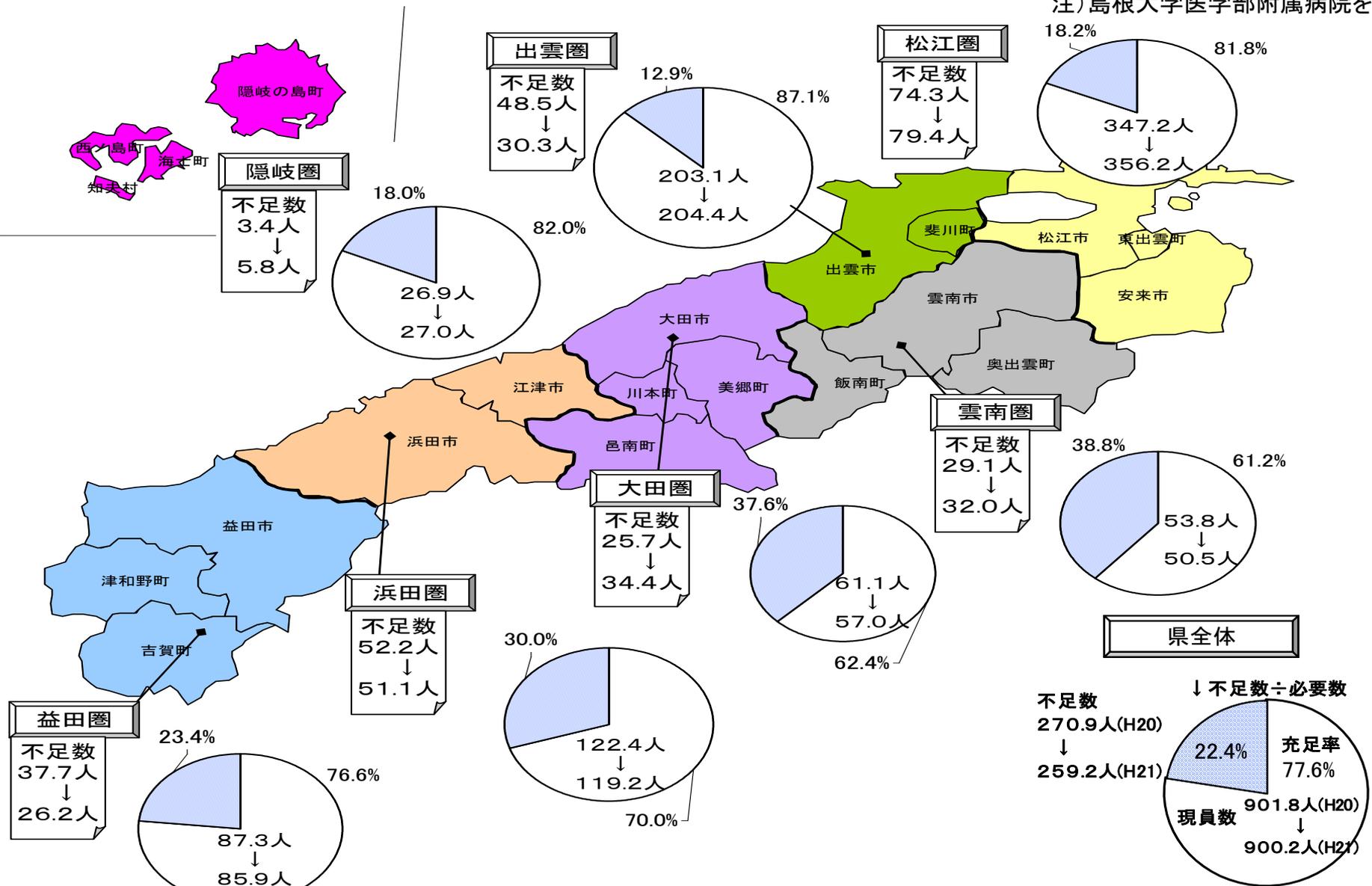
(島根県「勤務医師実態調査(毎年10月1日現在)」より)

# H21年県内病院勤務医師778人の 出身医局



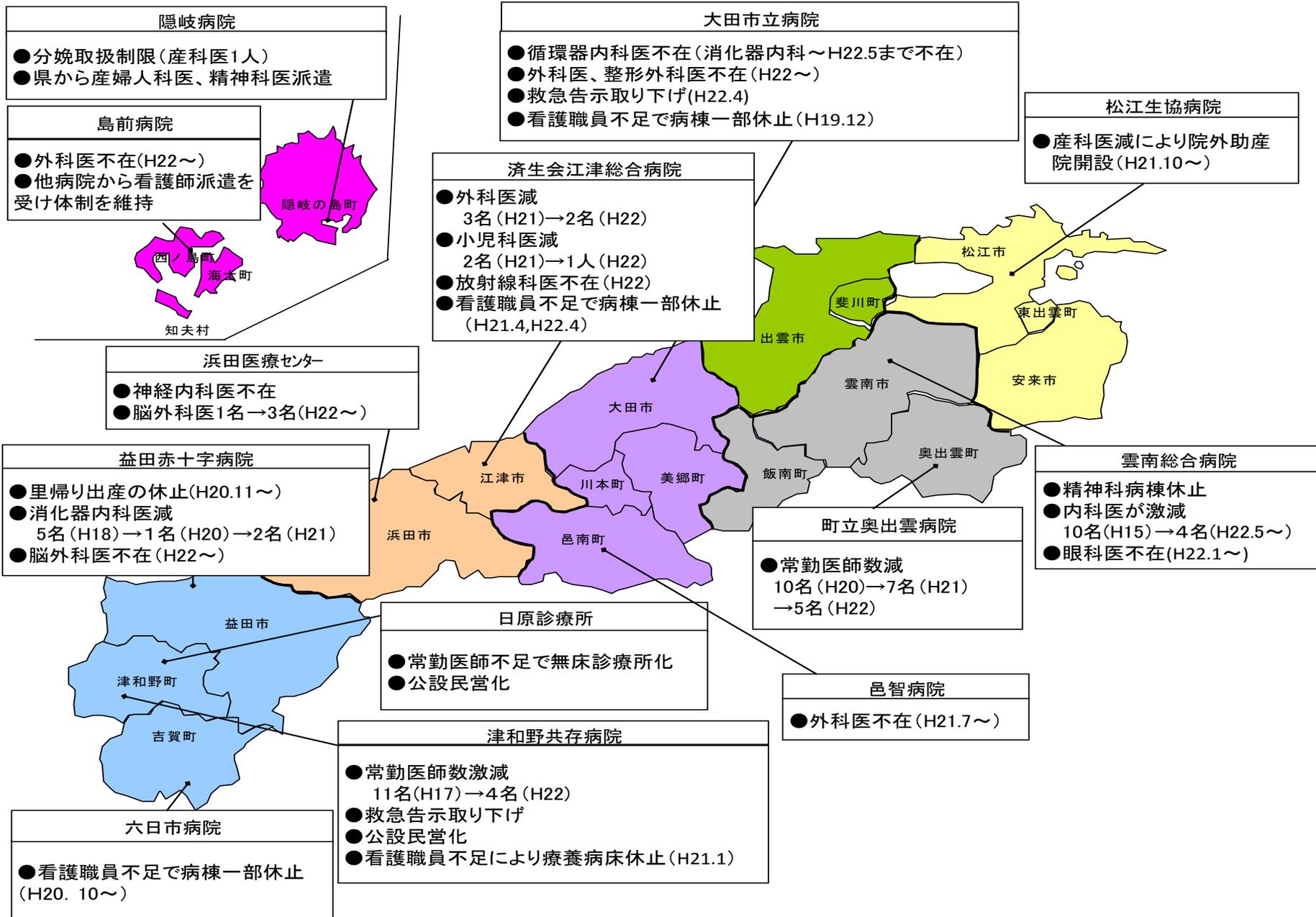
# 県全体で約260人の病院勤務医が不足

注) 島根大学医学部附属病院を除く。



※H21年度勤務医師実態調査 (H21.10.1) より

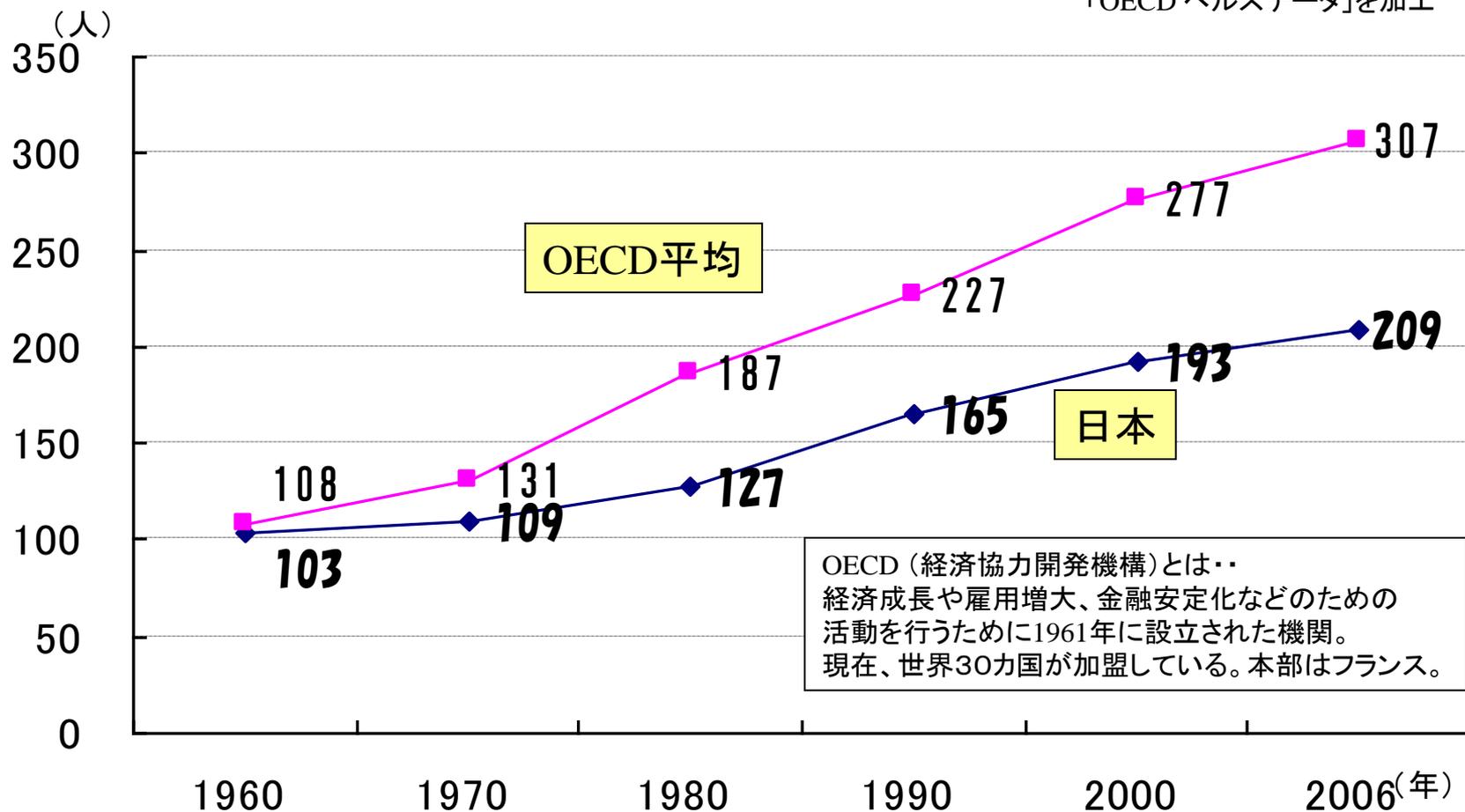
# 島根県内病院の医師不足等による医療体制への影響



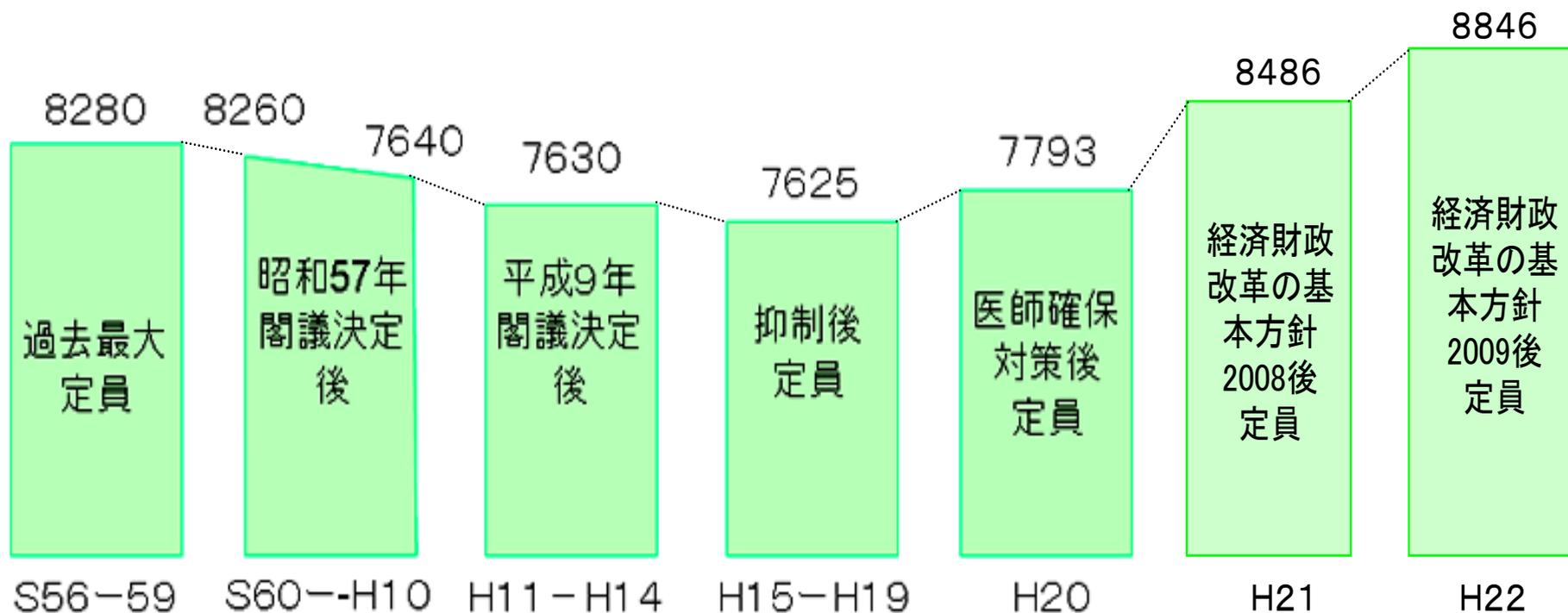
# 医師数は世界(OECD)に比べ少なく、その差が拡大

## OECD諸国の人口10万人対医師数推移

「OECD ヘルスデータ」を加工

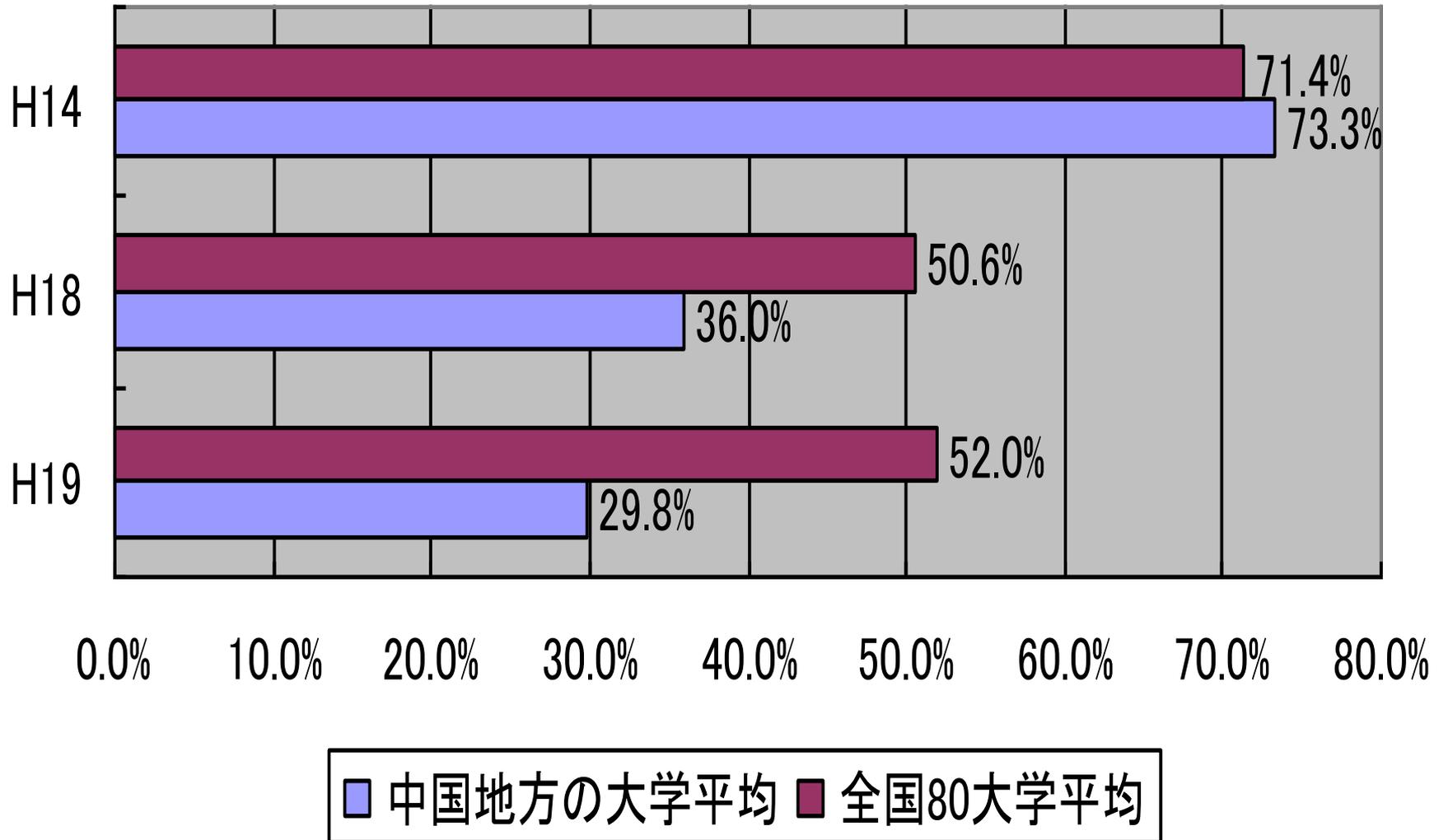


# 医師養成数の推移



文部科学省資料を加工

# 大学医学部入局率





<医師・歯科医師・薬剤師調査より>

○産科医師数推移（産婦人科+産科）

対前年比減 全国以下

年度	H10	H12	H14	H16	H18	H20	増減 (H20-H10)	増減率 (H20/H10)
全国	11,269	11,059	11,034	10,594	10,074	10,389	▲ 880	92.2%
島根県	74	74	71	71	63	66	▲ 8	89.2%
鳥取県	77	79	76	60	70	61	▲ 16	79.2%
岡山県	166	175	182	170	167	170	4	102.4%
広島県	279	271	253	246	229	237	▲ 42	84.9%
山口県	141	136	126	121	115	121	▲ 20	85.8%

○外科医師数推移

年度	H10	H12	H14	H16	H18	H20	増減 (H20-H10)	増減率 (H20/H10)
全国	24,861	24,444	23,868	23,240	21,574	22,002	▲ 2,859	88.5%
島根県	164	156	154	149	135	120	▲ 44	73.2%
鳥取県	159	162	140	148	133	125	▲ 34	78.6%
岡山県	499	491	496	470	434	431	▲ 68	86.4%
広島県	771	762	746	774	709	685	▲ 86	88.8%
山口県	386	387	372	375	340	345	▲ 41	89.4%

## 女性医師の状況

### 女性医師数の年次推移(医師・歯科医師・薬剤師調査より)

年度別		平成6年	平成8年	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年
全国	医師総数	230,519	240,908	248,611	255,792	262,687	270,371	277,927	286,699
	女性医師数	29,275	32,259	35,008	36,852	41,139	44,628	47,929	51,997
	女性医師割合	12.7%	13.4%	14.1%	14.4%	15.7%	16.5%	17.2%	18.1%
島根県	医師総数	1,655	1,715	1,747	1,807	1,850	1,895	1,939	1,911
	女性医師数	191	218	212	215	254	284	310	329
	女性医師割合	11.5%	12.7%	12.1%	11.9%	13.7%	15.0%	16.0%	17.2%

### 島根大学医学部在学生に占める女性比率(平成22年度)

学年別	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
在学総数	100	103	103	93	98	101	598
うち女性数	46	30	46	48	39	42	251
女性比率	46.0%	29.1%	44.7%	51.6%	39.8%	41.6%	42.0%

# 医師確保実績

年度	確保人数	圏域別内訳						
		松江	雲南	出雲	大田	浜田	益田	隠岐
H14	5		1	1			1	2
H15	1			1				
H16	7			4	1		1	1
H17	2		1	1				
H18	8	1		2	1	2	1	1
H19	11	3	1	1	1		5	
H20	9	1		2		1	3	2
H21	14	1	1	9	2		1	
合計	57	6	4	21	5	3	12	6

# 奨学金 学年別貸与状況

(H22年6月末現在)

制度名	H22	医学生						医師		合計
	定員枠	1年	2年	3年	4年	5年	6年	初期	3年目以上	
地域医療奨学金 (H14～)	22	22	14	17	15	14	7	6	3	98
しまね医学生特別奨学金 (H18～21)	0		1		2	4	2	2	1	12
緊急医師確保対策枠奨学金 (H21～)	5	5	5							10
特定診療科医師緊急養成奨学金 (H22～) ※募集期間6/10～7/16	5									
合計	32	27	20	17	17	18	9	8	4	120

## 島根県地域医療再生計画の概要

### 1. 事業費・対象地域

- ・事業費：25億円×2対象地域＝50億円（平成21年度基金を設置）
- ・事業期間：平成21年度～平成25年度

### 2. 島根県の地域医療再生計画の全体像

県東部地域計画 <25億>  
<全県15億 地域10億>  
(雲南圏域・隠岐圏域、安来市)

県西部地域計画 <25億>  
<全県14億 地域11億>  
(大田圏域・浜田圏域、益田圏域)

### 3. 事業の概略【50億円(県全体事業29億円 対象地域事業21億円)】

本計画では、医師不足が深刻な地域における医師をはじめとした医療従事者の確保に重点をおき、併せて、医療用のヘリコプターや遠隔画像診断などマンパワー不足を補うための体制整備を図る。

#### 1. 医師確保対策 <25億円>

現役の医師を「呼ぶ」対策、将来の地域医療を担う医師を「育てる」対策  
島根で働く医師を「助ける」対策

#### 2. 医療用ヘリコプター <8億円>

インフラ整備(ヘリポート整備等)  
ドクターヘリ運航経費

#### 3. ITを活用した地域医療の支援 <10億円>

電子カルテ連携システム整備  
遠隔画像診断システムの整備

#### 4. 看護職員確保対策 <5億円>

県内進学促進・県内就職促進対策  
助産師確保対策、離職防止・再就職促進対策

#### 5. がん予防・検診対策 <2億円>

検診率の向上対策  
がん診療情報・相談機能の充実

# 県の医師確保養成対策

		既存事業	地域医療再生計画の主要事業
<b>高校生</b> 中・長期的な対応策	地域医療体験実習 夢実現進学チャレンジセミナー		
<b>医学生（6年間）</b>	【貸与実績】93名 <b>28名(H21)</b> 医学生地域医療奨学金 【貸与額】7,482千円/人 義務6年 ・島大地域枠【10名継続】 ・〃一般枠【10名再編】 緊急医師確保対策枠奨学金【5名継続】 【貸与額】174万/年 義務9年 しまね医学生特別【3名】→廃止 【貸与額】150万/年 義務2年 夏季・春季実習 臨床研修病院ガイダンス	<b>32名(H22)</b> 医学生への奨学金を再編・拡充 【対象者】【17名枠】 ①定員増分 島根大学枠【10名再編】 ②定員増分 鳥取大学枠【2名新規】 大学での勤務医師育成のための支援 地域医療機関へ医師を供給する大学への医師育成経費を補助	島根大学医学部への寄附講座の設置 （奨学金医師等の勤務する医療機関の調整、キャリア形成支援）
<b>医師免許取得</b> <b>前期研修医（義務2年）</b>	プログラム発展講習会 指導医講習会 研修医意見交換会 地域医療教育連絡会	初期・後期研修医向けの研修資金貸付制度の創設 ・初期研修医向（貸与年額1,500千円）【15人】 → 県内での後期研修を条件に返還免除 ・後期研修医向（貸与年額3,000千円）【10人】	
<b>後期研修医（任意3年）</b>	<b>【診療科偏在対策】</b> ・こころの医療Cで後期研修医を受け入れ ・正規職員として雇用、2年間の県内義務付き	<b>後期研修医の国内留学支援</b>	
<b>即戦力医師</b> 短期的対応策	<b>赤ひげバンク</b> ・様々な広報媒体を利用した情報収集 ・全国各地への出張面談 <b>【確保実績】</b> H14～H17:15人 H18:8人 H19:11人 県立病院医師プール制 地域勤務を前提とした県中での専門研修 <b>女性医師への支援</b> 代診医制度 <b>診療科偏在対策</b> 自治医科大卒医を不足診療科専門医として養成	<b>強化</b> <b>県外からの医師招聘の促進</b> 県外の大規模病院等の医師を招聘するため、招聘元病院への逸失利益を補助 <b>専門医資格取得等の支援</b>	
<b>勤務医の負担軽減策</b>	救急医療体制支援 小児救急電話相談（#8000）	<b>＜県民への働きかけ＞</b> <b>地域医療を守る普及啓発支援事業</b> 地域の開業医の診療応援に対する支援 開業医の応援により救急病院の勤務医の負担軽減を図る医師会等に対して、待機手当や調整業務に要する経費の一部を支援 在宅当番医制等に対する支援 在宅当番医制や休日診療所等の初期救急医療体制の強化を支援	

# 奨学生医師の今後の見込み

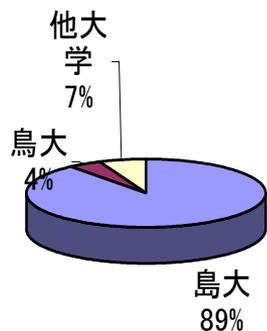
## 奨学生医師の展望

【H21年度】

貸与終了者の医師数

8名

貸与者93名の大学別内訳



貸与を継続すると

5年後

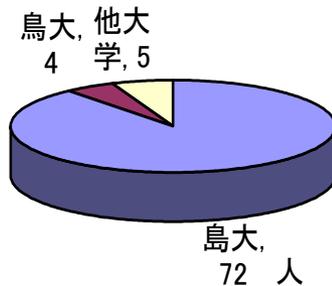
大学別比率を  
医師数に適応すると

【H26年度】

貸与終了者の医師数(見込み)

約80名

奨学生医師の  
大学別内訳(推計)



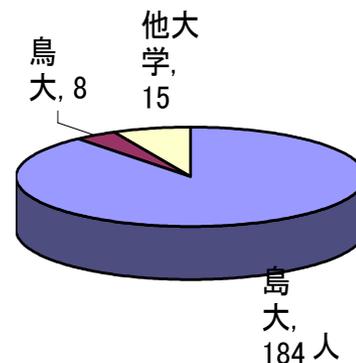
10年後

【H31年度】

貸与終了者の医師数(見込み)

約200名

奨学生医師の  
大学別内訳(推計)



島大出身者の卒前・卒後を通じた県内定着誘導策が必要

# 寄附講座の設置

島根大学で地域医療を志す医学生や医師に対する支援

## 地域医療支援学講座

(多くは)  
専門医  
志望者  
(医局にも所属)

総合医  
志望者

### 【業務内容】

- ・地域医療の魅力を医学生に普及  
(医学生への県内定着の働きかけ)
- ・地域医療に必要な総合医の養成  
(研修のコーディネート)
- ・医師の希望と地域医療ニーズを調整

研修  
連携

県内  
医療機関

連携

## 県 医師確保対策室

### 【業務内容】

- ・年限内自治医への支援
- ・他大学奨学金医師の支援
- ・赤ひげ医師のコーディネート

他大学出身  
奨学金医師23名

義務年限内自治医  
12~13名

## 2 看護職員確保対策

### 1. 施策の背景

#### (1) 現状

- ① 就業看護職員数は増加傾向にあるにもかかわらず、中山間、離島地域にある病院や中小病院はもとより、都市部の大規模病院においても看護職員の確保が困難な状況が生じ、適切な医療の提供に支障が生じている。
- ② 特に、県西部地域においては、看護職員の不足により一部病棟を休止したり、入院制限を行う病院も生じている。
- ③ 県内の看護職員養成施設に毎年概ね300名の県内出身者が入学しており、そのうち県内高校からの進学者は180名程度である。一方、概ね200名の県内高校生が県外の養成施設に進学している。

#### 《病棟一部休止などの状況》

大田市立病院（H19.12～ 一般▲54床）

済生会江津総合病院（H21.4～ 療養▲40床、H22.4～ 一般▲48床）、

六日市病院（H20.10～ 一般▲30床）、津和野共存病院（H21.1～ 療養▲49床）

隠岐島前病院（他病院から看護師派遣を受け看護体制を維持）

#### 《看護師等学校・養成所への進学・卒業状況》

##### ア. 県内看護師等学校・養成所への入学状況

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
① 定員	442	442	442	442	442	442	442
② 入学者数	394	409	388	393	397	404	405
③ 定員充足率(②/①)	89.1%	92.5%	87.8%	88.9%	89.8%	91.4%	91.6%
④ 入学者のうち県内出身者	270	301	277	298	290	296	321
⑤ 県内出身者率(④/②)	68.5%	73.6%	71.4%	75.8%	73.0%	73.3%	79.3%

島根県健康福祉部医療政策課調べ

##### イ. 県内高等学校からの看護師等学校・養成所への進学状況

	19年度	20年度	21年度	22年度
① 県内高等学校からの全進学者数	5,328	4,958	4,885	調査予定
② うち看護系への進学者数	374	355	370	427
③ 看護系進学割合(②/①)	7.0%	7.2%	7.6%	-
④ 県内養成機関への進学者数	178	162	171	179
⑤ 県内進学割合(④/②)	47.6%	45.6%	46.2%	41.9%
⑥ 県外養成機関への進学者数	196	193	199	248
⑦ 県外進学割合(⑥/②)	52.4%	54.4%	53.8%	58.1%

学校基本調査・島根県教育委員会高校教育課・健康福祉部医療政策課調べ

##### ウ. 県内看護師等学校・養成所の卒業状況

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
① 卒業者数	428	413	377	356	351	377	
② 看護職として就業者数	340	317	293	283	285	296	
③ うち県内就業者数	210	195	173	175	179	203	
④ 県内就業率(③/②)	61.8%	61.5%	59.0%	61.8%	62.8%	68.6%	
⑤ 進学者数	73	68	69	60	52	68	
⑥ その他	15	28	15	13	14	13	

島根県健康福祉部医療政策課調べ

## (2) 中期的見通し

平成21年から平成27年にかけて、就業看護職員数（供給）は今後も増加する見通しであるが、一方で下記要因などにより供給を上回る需要が見込まれることから、需要数が供給数を上回る不足の状態は、今後中期的にも継続するものと考えられる。

《第7次島根県看護職員需給見通し中間まとめ結果》

平成22年2月9日現在

	平成23年末	平成24年末	平成25年末	平成26年末	平成27年末
需要見込み人数(①)	10,688	10,911	11,065	11,142	11,227
	283	291	293	296	298
供給見込み人数(②)	10,353	10,522	10,683	10,865	10,972
	240	252	264	275	282
差引不足人数(①-②)	335	389	381	277	255
	44	39	30	20	16

※上段は看護職員の合計、下段は助産師（再掲）の数

(常勤換算値)

### 【需要増の主な要因】

- ①介護保険関係職場の拡大 ②7対1入院基本料の新設等による病棟部門の充実、  
③多様な勤務形態導入による就労環境の改善 ④新人看護職員を含む研修体制の充実

○各年末において、需要数に対して最大で389人、平成27年末に255人不足する見通し。

【助産師（再掲）】 需要数に対して最大で44人、平成27年末に16人不足の見通し

## 2. 施策の目的・目標・状況

- ① 島根総合発展計画では「県内養成機関を卒業した看護職員の県内就業率」60%以上を確保することを成果指標として掲げており、これについては達成されている
- ② しかし、現に適切な医療を提供できる体制に支障が生じている中、今後、既存の看護職員確保対策事業に加えて地域医療再生計画（平成22年度から平成25年度まで）による事業を実施することにより看護職員の確保は一定程度進み不足数は減少するが、需要を満たすまでには至らない。（平成27年末に255人不足）
- ③ 現時点での看護職員の不足により適切な医療を提供できる体制に支障が生じていることへの対応が必要であるとともに、各年末の不足数の解消を目指して看護職員確保対策の効果が一層上がるよう、県、市町村、病院、県看護協会など関係者が一体となって取り組むことが必要である。

### 3. 具体的な事業内容

#### 1 看護職員確保対策事業

H22:412,034千円 (H21:417,900千円)

- ア 県内進学促進対策 344,575千円
- ①県立高等看護学院（松江・石見）において看護師を養成
  - ②民間看護師等養成所の運営費に対する補助
  - ③新設看護師等養成所の施設設備整備に対する補助
- イ 県内就業促進対策 36,472千円
- ①県内就業を目指す看護学生に修学資金を貸与
    - ・新規貸与40名、継続貸与56名
    - ・5年間の県内勤務で返還免除
- ウ 離職防止対策 13,971千円
- ①民間病院の院内保育所運営費に対する補助
- エ 再就業促進対策 15,270千円
- ①県ナースセンターを指定して無料職業紹介等を実施
  - ②潜在看護職員の実態調査【新規】

#### 2 地域医療再生計画事業【新規】

H22:157,544千円 (H21:0千円)

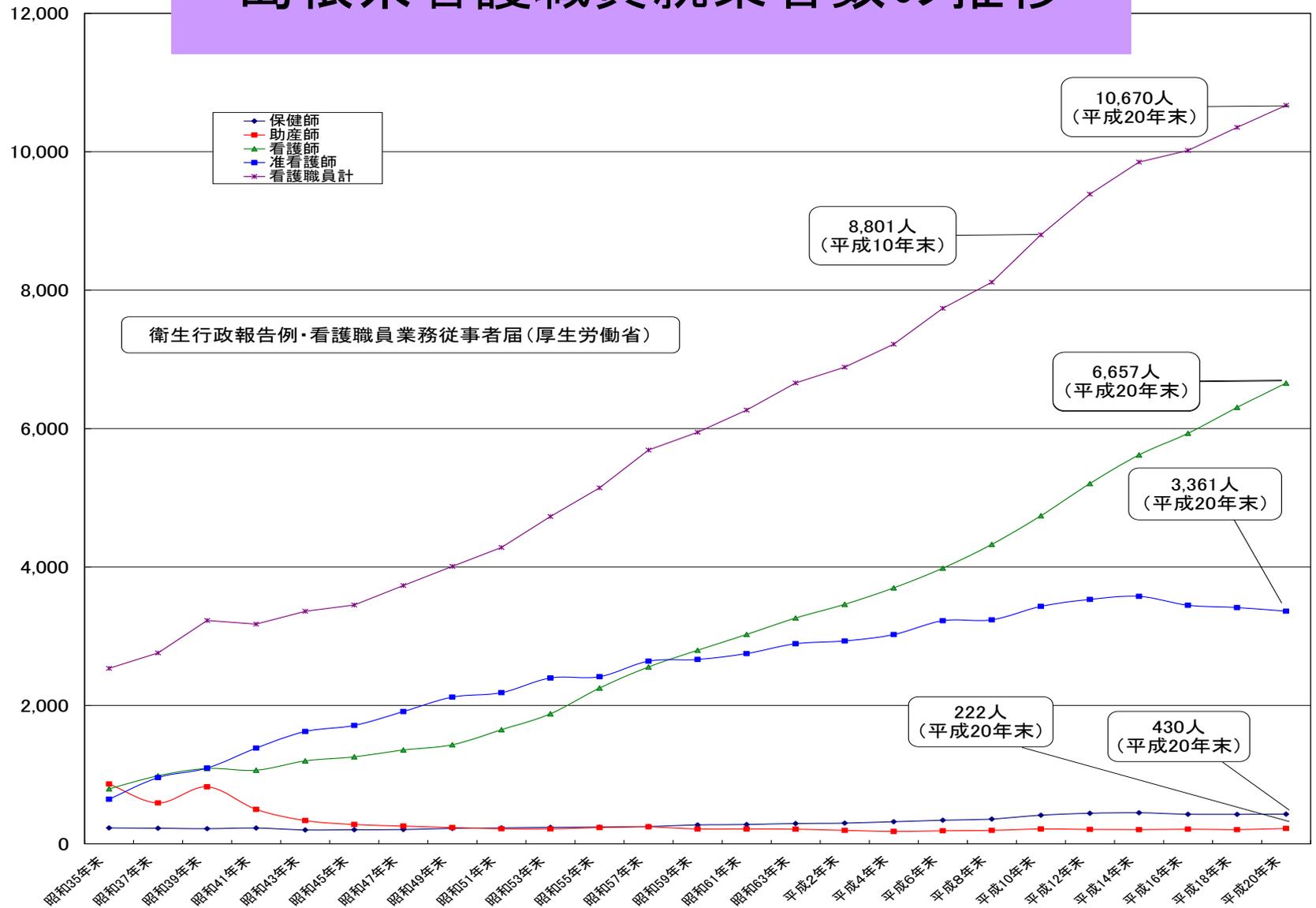
[医療政策課156,939千円、健康推進課605千円]

- ア 県内進学促進対策 18,074千円
- ①看護師等養成所教員の資質向上研修等の実施
  - ②民間看護師等養成所の教育環境整備
- イ 県内就業促進対策 59,000千円
- ①県内就業を目指す看護学生に修学・就職活動資金を貸与
    - ・県外養成機関の最終学年を対象に85名貸与
    - ・5年間の県内勤務で返還免除
  - ②県内病院の看護職員募集活動への支援
- ウ 離職防止・再就業促進対策 64,487千円
- ①病院の離職防止・再就業促進の取組みへの支援
  - ②新人卒後臨床研修や新人指導担当職員研修への支援
- エ 助産師確保・活用対策 15,983千円
- ①助産師として県内就業を目指す看護学生に修学資金を貸与
    - ・最終学年を対象に10名貸与
    - ・5年間の県内勤務で返還免除
  - ②助産師卒後教育研修プログラムの構築（健康推進課事業）

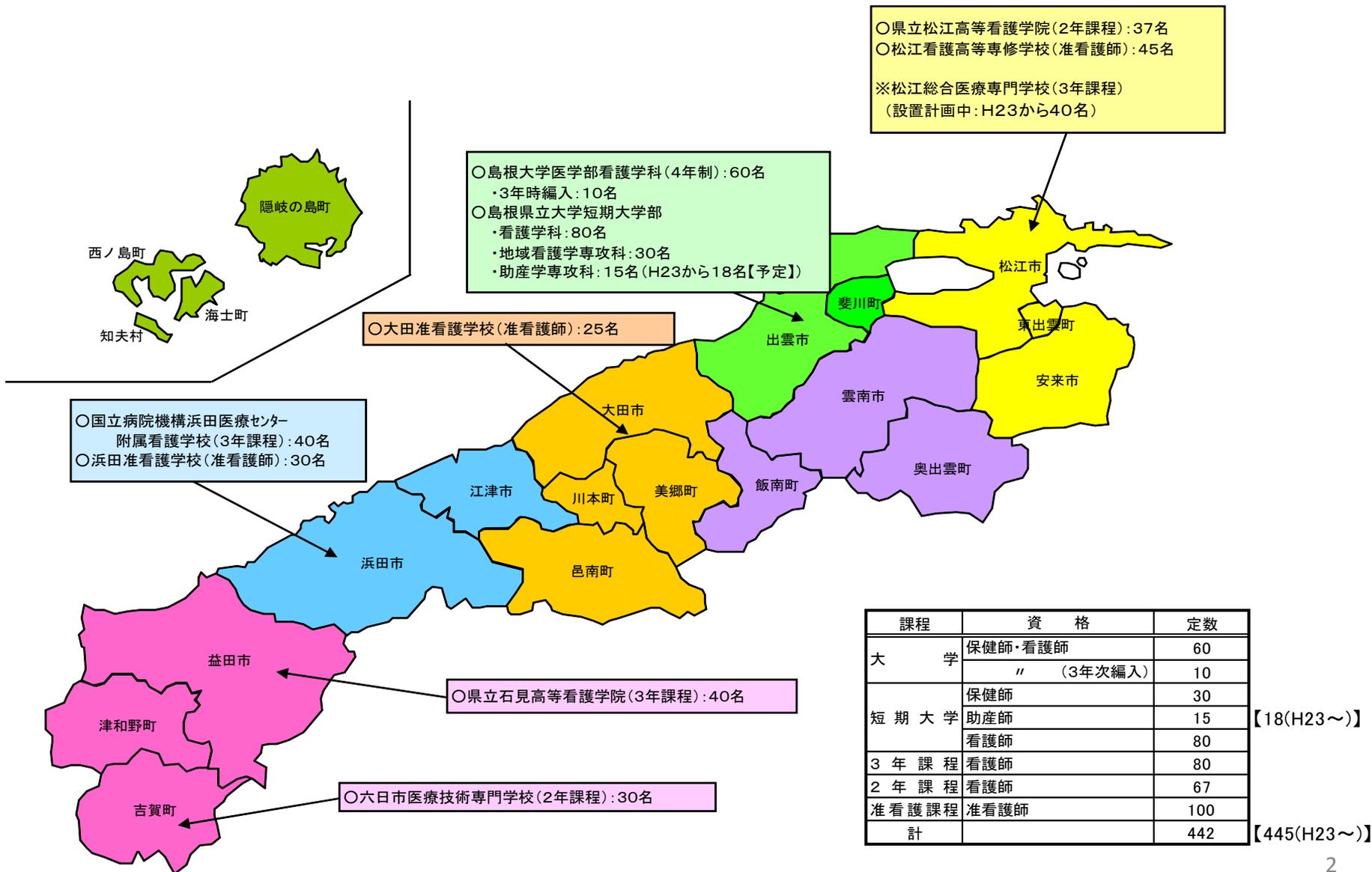
### 4. 今後の検討課題

今後、関係者が一体となって看護職員確保対策に取り組むに当たって、行政としてどのような分野、事業に力を入れていくとよいか

# 島根県看護職員就業者数の推移



# 県内看護師等学校養成所



# 看護奨学金貸付・定着等状況

■ 県内定着率は、7割を超え、一定の定着効果が認められる。

## ■ 看護学生修学資金 県内定着状況

(単位:人)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H14→H21 合計
合計(貸与決定者数・貸付枠) a	20	19	20	20	29	40	40	40	228
県内医療機関等へ就職 b	11	13	16	15	17	18	8	0	98
県内学校養成所から	6	9	13	11	15	13	5	0	72
県外学校養成所から	5	4	3	4	2	5	3	0	26
定着率 $b/(a-c-e)$	55.0%	68.4%	80.0%	78.9%	73.9%	90.0%	100.0%	—	76.0%
上級課程に進学中 c	0	0	0	1	4	6	2	0	13
県外その他施設へ就職等 d	9	6	4	4	6	2	0	0	31
貸与中 e	0	0	0	0	2	14	30	40	86

※「県内医療機関等へ就職」には、貸し付け条件にかかわらず、現在の県内の医療機関等に当初就職した者の数

# 県内院内保育所一覧

## ■病院内保育所一覧

(平成22年4月1日現在)

市町村名	施設名	事業開始
松江市	松江医療センターさくら保育園	昭和50年3月1日
松江市	松江記念病院企業内保育所 すぎのこ園	平成3年9月1日
松江市	松江赤十字病院保育所	昭和62年7月1日
安来市	安来市立病院院内保育施設 (通称:なかよしキッズ)	平成22年4月1日
雲南市	公立雲南総合病院院内保育所 (通称:ほたるキッズ)	平成21年9月1日
出雲市	島根大学医学部附属病院うさぎ保育所	平成18年4月1日
出雲市	県立中央病院院内保育所 (通称:にこにこ保育所)	平成22年3月30日
斐川町	出雲徳洲会病院とびっこ保育園	平成18年11月16日
大田市	大田市立病院院内保育所 (通称:たんぽぽ保育所)	平成20年12月1日
邑南町	三笠記念クリニック託児所【病院から診療所に移行】	平成11年5月15日
浜田市	浜田医療センターおおぞら保育園	昭和38年8月1日
益田市	益田地域医療センター医師会病院 益田市医師会職員保育所	平成18年4月1日
吉賀町	六日市病院附属小鳩保育所	平成13年4月1日
	13箇所	

# 再就業支援講習会開催病院

(「島根県看護職情報ネット」平成21年度掲載分)

施設名	実施期間	内容
済生会江津総合病院	2ヶ月に1回実施中 H21(11/30,12/1) H22(2/1,2/2)	担当看護師が医療安全、感染等の考えを伝えながら、当院のマニュアルに沿って看護の基本的技術実習を行います。希望により現場体験も行います。
安来市立病院	募集期間に随時実施期間5日間	担当看護師と共に、看護の基本的技術の実践を行います。
益田地域医療センター医師会病院	実施:4月/9月 1日コース	実施マニュアルに沿って、説明。指導担当看護師がデモンストレーションを行い、実践する。(注射・酸素吸入・喀痰吸引・輸液ポンプ・経管栄養等)
医療法人 同仁会 海星病院	実施期間は要望にできる限り応えます。	看護の基本・身体的合併症の対応、精神看護の特徴等について、担当看護師と一緒に実践していただきます。
玉造厚生年金病院	募集期間:随時 ・短期コース:1~3日間 (要望に添います) ・6ヶ月コース	○看護実践に必要な基本的看護技術を指導者の下に実践します。6ヶ月で6力所の病棟にてローテーション研修を行います。指導者と共に夜間看護研修も行います。
松江市立病院	募集期間:随時 実施期間:3~5日	* 院内・病棟オリエンテーション * 緩和ケア病棟の見学 * 担当病棟にて:受け持ち看護師と共に看護の基本的技術の実践を行います。
出雲徳州会病院	募集期間:随時 実施期間:2日間	担当看護師と共に、看護の基本的知識・技術の実践を行います。また、最新医療機器などの実習・体験も希望により行います。
松江生協病院 松江生協リハビリテーション病院	実施日: H21(10/20,11/17,12/15) H22(1/19) 時間:9:00~16:00 成22年春と秋に実施予定	平 10/20:採血・注射・薬の知識・褥瘡予防・現場体験 11/17:感染防止・おむつ交換・経管栄養・口腔ケア・現場体験 12/15:急変時の対応・安全対策・移動・移乗・移送・吸引・現場体験 1/19:看護体験
島根大学医学部付属病院	随時募集: オンライン在宅学習システムには最大3ヶ月コースと、最大6ヶ月コースの2コースがあります。	【プログラム内容】 1, オンライン在宅学習システム(VISUALERARN)視聴による自己学習(受講者にIDとパスワードを発行し、ご自宅のパソコンで視聴できます。) 2, 島根大学医学部看護学科でのフィジカルアセスメント技術演習(半日予定) 3, 島根大学医学部付属病院見学(約1日、コンピューター操作を含む) 4, 個別面談 5, 学習評価の視聴回数及び、知識・技術試験)
安来市医師会病院	募集期間:随時 見学も可能	担当看護師と共に、老人看護、終末期看護等、基本的知識技術の実践を行います。
隠岐広域連合立隠岐島前 病院	募集期間:随時	担当看護師と共に、看護の基本的技術の実践を行います。